飯山市防災会議 会議概要

1 会議名	平成 26 年度 飯山市防災会議
2 日時	平成 26 年 7 月 31 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30
3 会場	市役所 4 階 第 3 委員会室
4 委員出席者	千曲川河川事務所中野出張所長、北信森林管理署長、 北信地方事務所長(代理出席)、北信建設事務所長(代理出席)、 北信保健福祉事務所長(代理出席)、飯山警察署長、飯山市議会議長、 飯山市議会総務文教委員長、岳北消防本部消防長、飯山市消防団長、 飯山市赤十字奉仕団委員長、民生児童委員協議会長、 中部電力(株)飯山営業所長、東日本電信電話(株)長野支店災害対策室長、 東日本旅客鉄道(株)飯山駅長、長電バス(株)飯山営業所長、 飯山市保健補導員協議会長、飯山女性教育を考える会、 教育長、副市長、総務部長、民生部長、経済部長、建設水道部長 (欠席：飯山市区長協議会長)
5 事務局出席者	危機管理防災課長、危機管理防災課員 2 名
6 報道関係者	I ネット飯山

協 議 事 項 等

1 開会 (進行 : 危機管理防災課長)

2 辞令交付

(危機管理防災課長)

当会の委員は役職をお願いしているが、前回会議から全ての委員が変更しているため、辞令を交付する。

3 会長あいさつ

(会長 飯山市長)

防災会議は飯山市の防災計画を検討していただく重要な会議である。前回の会議は、平成 19 年であり、その際に防災計画の根幹を定めていただいた。

当委員は役職で定められており、任期はないが、全ての委員が代っているため、今回お集まりの皆様には新たな委員として、辞令交付させていただいた。

さて、近年、全国で災害が頻発しており、東日本大震災、長野県北部地震という大きな地震災害が発生した。飯山市においても昭和 57 年、58 年には千曲川の災害があり、冬には頻繁に豪雪災害がおこっている。

また、福島原子力災害という想定もしなかった災害が発生した。突然襲ってくる災害に対する日常からの備えや対応が重要である。その根幹を定めるものが市の防災計画である。

今回の修正ポイントについては、災対法の改正、長野県地域防災計画において、災害を未然に防ぐことは不可能であり、災害時の被害を最小化する「減災」という考え方を基本

方針としている。また、関係機関との情報連絡体制の整備、要配慮者の支援など国や県の計画が修正され、東日本大震災を経験に、原子力災害対応編が盛り込まれた。

今回、それらに基づき、当市の計画についても原子力災害対応編を追加するとともに、国や県の計画を踏まえて修正した。

委員の皆様には当計画を審議いただき決定していただきたい。市では、それを基に、今後、より具体的なマニュアル等を整備し対応していきたい。

十分にご審議を頂きますようお願い申し上げます。

また、飯山市においては、こういった防災に対する強化ということで今年度からは危機管理防災課を新設し、様々な災害等の危機に対応していきたいと考えている。

4 飯山市地域防災計画について（資料1）

（危機管理防災課長）

資料1を説明

5 地域防災計画修正に係る事前協議等の経過

（危機管理防災課員）

次第中、経過を説明

6 協議事項（進行 会長 飯山市長）

（1）飯山市地域防災計画修正案について（資料2）

（危機管理防災課員）

資料2及び地域防災計画修正案を説明

委員からの修正案に対する事前意見に対する対応を説明

（資料「飯山市地域防災計画修正（案）におけるご意見に対する回答及び対応」）

（会長 飯山市長）

北信建設事務所からの意見であるが、土砂災害警戒区域等の反映に対して、次年度対応するとのことだが、具体的にどういうことか。指定されているのであればハザードマップの作成前に、反映できないか。

（危機管理防災課長）

区域の指定はされており、自然現象の種類や区域の名称等の情報、及び個別の区域図（航空写真）もある。しかしながら、区域図は詳細に分かれており、膨大な資料となる。また、縦覧に際して住民にとって見やすくする必要がある。また、自然現象の種類や区域の名称などの一覧表のみを掲載しても分かりづらい。

現在、土砂災害のハザードマップ制作を進めており、住民が分かりやすいよう、一定の地域毎に指定区域を落とすとともに、避難所などを掲載する予定であり、今年度中に完成

見込みである。

については、完成次第、次年度の修正に合わせ、指定区域一覧表とともに、作成した区域図を資料編に掲載したい。

なお、指定区域の掲載の必要性については、今回の修正（計画書 114P）で盛り込んだ。

（会長 飯山市長）

他に意見はいかがか。今回決定していただいた後、当計画に沿い個別のマニュアルを作成していく予定である。

（委員）

「要配慮者」、「避難行動要支援者」など言葉で表すのは簡単だが、その対象をどの範囲までにするのか、また、その名簿等を市でつくるが、実際に活用するのは地域であり、どこまで公開するのか、誰が持っているのか、ということが課題である。その辺も含め今後検討してほしい。

（危機管理防災課長）

要配慮者の名簿については、福祉部局で対象範囲などを検討中である。たしかに、名簿は市内部では共有できるが、実際の災害においては、一番重要な自主防災組織や民生委員などへの名簿の提供においては、本人の同意が必要である。今後も福祉部局と相談しながら進めてまいりたい。

（会長 飯山市長）

市の方では要配慮者の対象者はわかるが、現実的には災害の初期の段階で地域の自主防災組織にて対象者をチェックしなければならない。現在、自主防災組織は90ほど設立されており、その中で支え合いマップを作成済みの組織は半数ほどである。

なかなか市の方から防災組織へデータを公開するわけにはいかない。その辺は本人の同意を得なければならない。

今後、要配慮者の対象者には防災に関する啓発を行い、その趣旨を説明し理解をいただきたいと考えている。

他に意見はいかがか。意見がなければ修正案について決定させていただきたい。

（委員一同）

異議なし。

（会長 飯山市長）

それではこれで決定をさせていただきます。ありがとうございます。

（2）修正案に関する今後のスケジュール

(危機管理防災課長)

只今、修正案につきましてお認めいただきました。今後、軽微な変更等がございますので、それを修正後、9月中旬に計画書をお送りする。

また、現在、県では、平成26年度分の修正を行っている。当会議についても、県の修正や要配慮者計画等の修正を平成27年度に会議を開催し、審議いただきたい。

(3) その他

(危機管理防災課長)

折角の機会でございますので、千曲川堤防等の整備状況等につきまして、千曲川河川事務所様、北信建設事務所様から状況についてご説明を頂きたい。

(千曲川河川事務所長)

千曲川河川事務所が所管する千曲川堤防等の整備状況等の説明をいただいた。

(北信建設事務所 今吉担当係長)

北信建設事務所が所管する千曲川堤防等の整備状況の説明をいただいた。

7 閉会 (15:30)